

下野市男女共同参画プランの推進状況概要（平成 26 年度）

平成 27 年 3 月 31 日現在

事業の進捗状況

現在の「シェアリング（わかちあい）しもつけー下野市男女共同参画プランー」では、3つの基本目標に基づき、男女共同参画に関する事業を推進しています。平成 26 年度の各事業の進捗状況は以下のとおりです。

＜評価基準＞

- A 評価**・・・男女共同参画の視点を取り入れている。
B 評価・・・男女共同参画の視点をやや取り入れている。
C 評価・・・男女共同参画の視点が不足している。

基本目標 I 互いに思いやる人権の尊重と男女共同参画の意識づくり

施策の方向	A 評価 達成率	評価		
		A 評価	B 評価	C 評価
I-1 男女平等意識の確立	100.0%	16	0	0
I-2 固定的な性別役割分担意識の解消	100.0%	10	0	0
I-3 国際的な視点からの男女共同参画の推進	100.0%	7	0	0

【基本目標 I の総括】

基本目標 I の評価をみると、すべての事業で A 評価となっています。

「I-1 男女平等意識の確立」では、すべての事業で A 評価となっています。学校教育では、人権教育やキャリア教育において男女共同参画の視点に立った教育に努めるとともに、発達段階に応じた思春期出前講座を実施しました。また、毎年度、男女共同参画のつどいや人権教育講演会を実施し、広く市民に対して男女共同参画に関する学習機会を提供しました。

「I-2 固定的な性別役割分担意識の解消」では、すべての事業で A 評価となっています。広報しもつけの男女共同参画コーナー、男女共同参画週間のパネル展示や情報紙シェアリングを活用し、男女共同参画に関する情報の提供や社会制度・慣行の是正に努めました。

「I-3 国際的な視点からの男女共同参画の推進」では、すべての事業で A 評価となっています。常に男女共同参画に関する情報収集に努めるとともに、国際交流を積極的に行い、国際的な視点からの男女共同参画の意識向上に努めました。

基本目標Ⅱ 男女がともに個性や能力を発揮できる社会環境づくり

施策の方向	A評価 達成率	評価		
		A評価	B評価	C評価
Ⅱ-1 男女がともに築く家庭生活の実現	46.2%	6	7	0
Ⅱ-2 職場での男女平等の推進	55.6%	5	4	0
Ⅱ-3 意思決定の場への女性の参画拡大	85.7%	12	2	0
Ⅱ-4 男女がともに参画し責任を共有する地域社会づくりの促進	85.7%	6	1	0

【基本目標Ⅱの総括】

基本目標Ⅱの評価をみると、多くの事業でA評価となっているものの、施策の方向によってはB評価が見られます。

「Ⅱ-1 男女がともに築く家庭生活の実現」では、約半数の事業でA評価となっています。各種パンフレットや冊子などを配布・設置することでワーク・ライフ・バランスに関する情報提供や啓発活動を実施してきましたが、より多くの市民や企業への周知が課題として残っていることから、半数程度がB評価となっています。

「Ⅱ-2 職場での男女平等の推進」では、約半数の事業でA評価となっています。各種パンフレットや冊子などを配布・設置することで均等な雇用機会と待遇の確保や女性の能力が活かせる職場・環境の整備を企業に働きかけてきましたが、より多くの市民や企業への周知が課題として残っていることから、半数程度がB評価となっています。

「Ⅱ-3 意思決定の場への女性の参画拡大」では、ほぼすべての事業でA評価となっています。審議会等の女性委員の割合を30%以上にすることを目標に掲げており、各課において、それぞれ推進を図った結果、平成26年4月1日現在で33.6%と目標達成に至っています。しかし、女性がいない審議会等が見られるため、引き続き推進することが必要です。また、女性リーダーの養成や家族経営協定の周知が課題として残っていることから、2事業がB評価となっています。

「Ⅱ-4 男女がともに参画し責任を共有する地域社会づくりの促進」では、ほぼすべての事業でA評価となっています。地域の各種活動において、男女ともに積極的に参画できる環境づくりを進めました。しかし、地域活動において、男女双方の会員の増強が課題として残っていることから、1事業がB評価となっています。

基本目標Ⅲ 男女が平等に安心して健康で豊かに暮らせる生活環境づくり

施策の方向	A評価 達成率	評価		
		A評価	B評価	C評価
Ⅲ-1 生涯を通じた健康の保持と増進	85.7%	6	1	0
Ⅲ-2 子育て支援環境の充実	83.3%	10	2	0
Ⅲ-3 男女間のあらゆる暴力の根絶	57.1%	8	6	0
Ⅲ-4 生涯学習の充実	70.0%	7	3	0
Ⅲ-5 高齢者や障害者が安心して暮らせる環境の整備	61.5%	8	5	0
Ⅲ-6 地域コミュニティ活性化の推進	80.0%	4	1	0

【基本目標Ⅲの総括】

基本目標Ⅲの評価をみると、多くの事業でA評価となっているものの、施策の方向によってはB評価が見られます。

「Ⅲ-1 生涯を通じた健康の保持と増進」では、ほぼすべての事業でA評価となっています。各種検診については受診率の向上に努めるとともに、健康づくりのための各種講座を実施しました。しかし、健康づくり活動において、参加者に男女の偏りがあることや若年層の参加が少ないことが課題として残っていることから、1事業がB評価となっています。

「Ⅲ-2 子育て支援環境の充実」では、ほぼすべての事業でA評価となっています。平成27年度からの子ども・子育て新制度の開始に向けて、各種子育て支援事業の充実に努めています。また、地域子育て支援センターや児童館などの施設において、父親の子育てへの参加を積極的に呼びかけるとともに、両親学級で父親同士の交流機会を設けました。しかし、DVと児童虐待との連携強化や市独自の父子手帳の作成が課題として残っていることから、2事業がB評価となっています。

「Ⅲ-3 男女間のあらゆる暴力の根絶」では、約半数の事業でA評価となっています。ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントや虐待の防止に向けて、庁内・庁外問わず関係機関と連携し、周知啓発や相談業務、早期発見などに努めました。しかし、セクシュアル・ハラスメント防止の事業所への周知や暴力等の被害者の支援体制の強化が課題として残っていることから、約半数の事業がB評価となっています。

「Ⅲ-4 生涯学習の充実」では、7割の事業でA評価となっています。地域において、男女がともに協力し、自立できる社会づくりをめざして、各種教室や学習機会の充実に努めました。しかし、各種教室において、男女双方の参加しやすい環境づくりが課題として残っていることから、3事業がB評価となっています。

「Ⅲ-5 高齢者や障害者が安心して暮らせる環境の整備」では、6割の事業でA評価となっています。高齢者全般に対し、男女が共に参加できる、生きがいつくり、介護予防に関する各種事業を実施しました。また、障害者のいる家庭に向けて、相談しやすい環境づくりを行いました。しかし、各種事業において、参加者に男女の偏りがあること、若年層の参加が少ないことや情報提供が課題として残っていることから、5事業がB評価となっています。

「Ⅲ-6 地域コミュニティ活性化の推進」では、ほぼすべての事業でA評価となっています。男女がともに地域コミュニティ活動に参加できるよう、加入や活動しやすい環境づくりを行いました。しかし、活動内容の周知や参加者の拡大が課題として残っていることから、1事業がB評価となっています。